

活動報告 2025年1月



ケイト・アレッシア・マカロン

年齢: 24歳

出身地: オーストラリア連邦・
クイーンズランド州・ブリスベン



ゲエン・タイン・ダット

年齢: 23歳

出身地: ベトナム社会主義共和国・
ハナム省・キムバン県

2024年7月～8月に2人の国際交流員が着任しました。国際交流員は、市民の多文化共生や国際化推進に資することを目的とします。今まで市内の学校等からいただいた依頼をいくつかご紹介します。

防災録音

ケイトは防災危機管理課の職員と防災放送の英語バージョンを録音しました。1月12日から1月末まで流して、市内で暮らす外国人は、「自然災害の際に何をすべきかを理解しやすくなった」と言ってくれました。日本は自然災害の多い国で佐伯市には800人以上の外国人が住んでいるので、言語のギャップを埋め、外国人が緊急時に何をすべきかを伝えることが国際交流員の一つの目標です。(1月7日)

にっぽん丸の受け入れ:

観光・国際交流課でにっぽん丸というクルーズ船を受け入れました。それで、国際交流員はお客様が乗っているバスの案内の手伝いをしたり、新しい船の進水式を見たりしました。(1月8日)



活動報告 2025年1月

児童クラブ訪問:

つるおか児童クラブ:

A) 国際交流員は1, 2年生とベトナムで人気の遊びをテーマとして、ゲームをやったり、文化交流もしたりしました。最初のゲームは日本で大人気なジャンケンでしたが、ベトナム語でやりました。子どもたちは「Oắn tù tì ra cái gì ra cái nà」というベトナム語でジャンケンの歌を学んでくれて、80人同時に対戦しました。子どもたちはベトナムの歌とリズムを覚え、私たちと対戦することができました。子どもたちはゲームを楽しんだり、ベトナムについて学んだりしてくれました。(1月15日)



B) 国際交流員は3年生以上とベトナムで人気の遊びなどをやりました。まずは、「○×ゲーム」で19人の子どもたちを二つのチームに分け、三つの○と三つの×を各チームに渡しました。子どもたちは走ってマスに○と×を入れ、最初に 3 つ並べたチームの勝ちとなりました。次のゲームは、「絵を見て答えを当てるゲーム」という 2 枚の絵から英語と日本語の単語を当てるゲームです。子どもたちは英語と日本語の両方でゲームをすることができて感心しました。最後に、児童たちと一緒にベトナム語でのジャンケンもしました。子どもたちはベトナムの文化や英語・ベトナム語の両方を学ぶことができました。文化交流の良い機会となり、子どもたちにベトナムで人気の遊びを教えることができたと思います。(1月22日)



ひがし児童クラブ:

国際交流員はひがし児童クラブに行って、小学生にベトナムで人気の遊びを紹介しました。まず、○×ゲームを子どもたちとやりました。小学校全学年が参加してくれて、1、2年生ができるかどうかちょっと心配しましたが、1, 2年生も上手にできました。次のゲームはベトナムのジャンケンでした。子どもたちはベト

活動報告 2025年1月

ナムのジャンケンの歌を覚えてくれて、記憶力の良さに驚きました。今回も遊びを通じて、子どもたちはベトナムについて学んでくれました。(1月29日)



学校訪問:

渡町台小学校:

国際交流員は5年生3クラスの小学生たちの発表を聞き、佐伯市について多くの質問をしました。子どもたちは前回よりすごく上手になったので、みんなが一生懸命に頑張ったことがわかりました。(1月16日)



佐伯東小学校:

国際交流員は外国語発表会全国大会の練習を手伝うため、5年生の授業に参加し、英語の発音と会話の手伝いをしました。英語の手伝いをしながら、お互いの文化や佐伯市での有名な食べ物等について学べました。(1月21日)

ケイトの英会話:

- A) 引き続き二つのグループに分かれたまま、英会話をしました。1月のテーマは「旅行」で、英語で話したり、「Name 10」というゲームもやったりしました。とても楽しく文化交流ができたよかったです。
(1月22日)
- B) 2回目は3人が参加してくれて、旅行についてたくさん話せてよかったです。参加者は上手にユニー

活動報告 2025 年 1 月

クな言葉を考えて、一人は 8/10 点が取れました。(1月28日)



国際交流員の昼休み講座：

国際交流員は昼休みを利用して、母国について職員に 15 分ずつ発表しました。11人ぐらいが参加し、オーストラリアとベトナムについて学んでくれました。この日はベトナムでは旧正月のため、ダットは参加者にバインチュンというベトナムの伝統的な旧正月に食べる料理を食べてもらいました。(1月29日)

